

JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さまへ

2020年2月3日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の間合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

① 研究計画名	性交渉の有無が黄体出血の CT 所見へ与える影響に関する検討		
② 研究責任者	氏名	太田 克人	所属 産婦人科
③ 研究の目的・意義	<p>黄体出血は妊娠可能年齢の女性における腹痛の原因の1つとして重要な疾患です。近年、若年女性の腹痛の診断を目的としてCT検査が行われることが増え、その際に黄体出血がCTで描出される場合があります。しかし、黄体出血のCT所見についての報告は限られた数しかありません。また黄体出血は性交渉による刺激が発症の原因の一つと考えられていますが、性交渉がない場合にも発症することがあります。この性交渉の有無がCT所見にどのような影響を与えるかについては明らかにされていません。</p> <p>本研究の目的は黄体出血のCT所見について再検討すると同時に、性交渉の有無が画像所見に与える影響について検討することです。この研究結果により臨床現場での黄体出血の診断がより正確なものになることが期待されます。</p>		
④ 研究期間	倫理審査承認後～2023年3月31日		
⑤ 対象となる患者さま	2010年4月1日～2015年3月31日の期間に黄体出血と診断された患者さま		
⑥利用する試料・情報	<p>電子カルテより以下の情報を利用します。</p> <p>【患者背景：年齢、発症72時間以内の性交渉の有無 画像所見：腹部CT、腹部エコー 血液検査：血液学的検査（Hb、WBC）、血液生化学検査（CRP）】</p>		
⑦利用する者の範囲	上記の試料・情報は、群馬中央病院にて研究責任者と研究分担者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。		

<p>⑧情報の管理</p>	<p>使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。</p> <p>また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。</p>		
<p>⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口</p>	<p>対応者氏名</p>	<p>太田 克人</p>	<p>所属 産婦人科</p>
	<p>TEL</p>	<p>027-221-8165 (代表)</p>	